

広報あのかわ

わたくしたちの町

人口(男)..... 4,693 人
(女)..... 5,078 人
合計..... 9,771 人
1月中の転入 19 人
転出 15 人
世帯数..... 2,209

(2月28日住民登録人口調)

三月定例町議会

新年度予算十二億六千万円

自然保護条例など
二十八議案を可決

三月十一日招集された三月定例町議会は、三月二十三日まで十三日間の会期で審議され、提出された昭和四十九年度合川町一般会計予算をはじめとする二十八議案、陳情請願それぞれ七件を可決採択して閉会しました。

今議会は、新年度の予算 勤察の「みさか寮」は、運
案の提出とあわせて、一年 営を県更生協会に委託し、
間の町政のあり方、進め方 大野台愛生園の関連施設に
が説明される定例会とあつ するものです。

また、一般質問は雪害対
策、町民の生活安定対策、
大野台工業開発、部落会
の運営指導、いこいの森整備
など、当面する重要問題に
ついて、七議
員より一般質
問が出されま
した。

なお、主な
議案の内容は
次のとおりで
す。
合川町の自
然環境を保
全する条例
の制定
大野台れん
げツツジの乱
獲から端を発
した、自然保
護問題について、条例を制
定し、町民みずから良好な
自然環境の確保に努めると
ともに、緑化に関する基本
計画を策定し、自然の環境
を保全しようとするもので
す。



町政説明をする島山町長

合川町立社会福祉施設
通観設置条例の制定
近く完成される、町立社
会福祉施設、精神薄弱者通
特別用地室を廃止し、従
来まで行ってきた町の行
土地登記、地籍調査、団体
営事業施行の土地登記の指
導に関する事務を財政課・

希望と夢をいだきながら
実社会へ飛び立つ意欲に燃
える十七人の若人たち。
ことし、中学校を卒業し
社会人として巣立つ就職者
を祝い、励げますつどいが
三月九日ことぶき荘で行わ
れました。
つどいは、就職者の紹介
からはじまり、島山町長、
佐藤教育長から「これから

希望と夢をいだきながら
実社会へ飛び立つ意欲に燃
える十七人の若人たち。
ことし、中学校を卒業し
社会人として巣立つ就職者
を祝い、励げますつどいが
三月九日ことぶき荘で行わ
れました。
つどいは、就職者の紹介
からはじまり、島山町長、
佐藤教育長から「これから

希望と夢をいだきながら
実社会へ飛び立つ意欲に燃
える十七人の若人たち。
ことし、中学校を卒業し
社会人として巣立つ就職者
を祝い、励げますつどいが
三月九日ことぶき荘で行わ
れました。
つどいは、就職者の紹介
からはじまり、島山町長、
佐藤教育長から「これから

希望と夢をいだきながら
実社会へ飛び立つ意欲に燃
える十七人の若人たち。
ことし、中学校を卒業し
社会人として巣立つ就職者
を祝い、励げますつどいが
三月九日ことぶき荘で行わ
れました。
つどいは、就職者の紹介
からはじまり、島山町長、
佐藤教育長から「これから

就職者激励会



希望と夢をいだきながら
実社会へ飛び立つ意欲に燃
える十七人の若人たち。
ことし、中学校を卒業し
社会人として巣立つ就職者
を祝い、励げますつどいが
三月九日ことぶき荘で行わ
れました。
つどいは、就職者の紹介
からはじまり、島山町長、
佐藤教育長から「これから

希望と夢をいだきながら
実社会へ飛び立つ意欲に燃
える十七人の若人たち。
ことし、中学校を卒業し
社会人として巣立つ就職者
を祝い、励げますつどいが
三月九日ことぶき荘で行わ
れました。
つどいは、就職者の紹介
からはじまり、島山町長、
佐藤教育長から「これから

希望と夢をいだきながら
実社会へ飛び立つ意欲に燃
える十七人の若人たち。
ことし、中学校を卒業し
社会人として巣立つ就職者
を祝い、励げますつどいが
三月九日ことぶき荘で行わ
れました。
つどいは、就職者の紹介
からはじまり、島山町長、
佐藤教育長から「これから

保健衛生優良部落を表彰
大掃除実施要項を設定

実施方法は点数制に

きれいな町
づくりは「全
町民の手で」
をスローガン
に、毎年、春
秋の二回にお
たつて大掃除
検査が行われ
てきました。
より一層の環
境衛生思想の
普及を図るた
め、このほど
「合川町保健
衛生優良部落
表彰規定」を
設けました。

これにより、掃除検査指
導員も町長が委任する二十
五人と限定され、実施方法
も従来の〇×式から点数
制となり、実施項目ごとに
優良五、やや良四、普
通三、不良一となり、
総合点が十八点以上で金章
そのあと、こん談会にう
つり、楽しくなつかしかつ
会場は社会人としての抱負
で一杯

十五点以上から十七点まで
は銀章となります。
この実施結果、金・銀章
家庭が九〇%以上の部落は
もちろんのこと、ゴミ処理
状況のいちじるしくよい部
落、集団検診の受診率が高
い部落、また、日常の保健
衛生活動の活発な部落が、
保健衛生優良部落として表
彰されます。
このように、掃除検査時
にかかわらず、日常の保健
衛生活動もあわせて評価さ
れることとなりますので、
各部落においては、日頃の
衛生活動の普及にも努めら
れ、全部落が優良表彰を受
けられるようにご協力下さ
い。

おしらせ
簡易な用件は
部落 職員の利用を
出身
戸籍や住民票抄本その
ほかいろいろな届出など
のためみなさんが役場へ
お出でになることがたい
へん多くなりましたが、
わざわざ足を運ばなくて
も簡単な用件はみなさん
の近所から役場へ来てい
る職員に頼んで下されば
足りしますのでどうぞご利用
下さい。
電話も発達しています
ので用件を電話で頼み、
職員が帰るときに持って
行くという方法もありま
す。どちらの方法でも結
構ですが町の職員をフル
に活用して下さるよう役
場では望んでいます。
なお、こうした用件の
ため職員が多少遅参早退
することはあらかじめ承
認しております。
総務課

みんなの健康
国保コーナー(1)

町民のみなさんに国民健
康保険事業の正しい理解と
協力を求め、その運用が適
正かつ迅速に行われること
を期待するものです。
この国保シリーズともい
うべき、ささやかなスペー
タ学校生活や友達のこと
について話し合われたが、中
には早くも、新しい社会人
としての抱負も披露するな
ど、なごやかなかにも強
い自覚と固い決意にもえて
おりました。
また、お国自慢の秋田の
歌ッコも覚えなければ損と
棚橋先生の指導で民謡の練
習、最後の学生時代に思い
出深い一ページをかざりま
した。

加入をやめる日
①他の市町村へ転出した
日の翌日②職場の健康保険
へ入った日③死亡した日の
翌日④生活保護を受けはじ
めた日
以上のようになつていま
すが、この届出は十四日以
内にしなければなりません。
もう一度お手元の被保険
者証を確認し、加入する日
は、やめる必要がある方は
被保険者証と印鑑を持参の
上、手続きをして下さい。
昭和四十九年度は、国保
税を引上げないことにし
ておりましたが、第一期分として
四月中に納入することに
なります。

退職
(主事補・関 厚子(財政課)
(任用)
看護婦・松橋レイ子・診療
所へ
技術員・藤島 一夫・財政
課へ
(異動) (カッコ内は旧)
▽議会事務局(町民課)相
馬 愛▽建設課(農林課)
小林富男▽保健課(税務課)
正田久人▽税務課(保健課)
成田紘一▽町民課(教委)
高橋良子▽西保育園(診療
所)藤島やエ子▽財政課(特
別用地室)藤田信行▽診療
所(西保育園)高橋頼子▽
財政課(特別用地室)安部
久雄▽診療所(財政課)安
部貞一▽教委(合川中)三
浦欽一▽教委・合川中(診
療所)成田知剛

町辞令

# 今年予算と重点事業

## 財源の効率的配分で

### 町民福祉の向上をめざす

#### 町長の昭和四十九年度施政方針の説明



昭和四十九年度予算案を主要議題とした町議会は、去る三月十一日招集され、三月二十三日閉会しました。が、新年度の予算案の提出に当り、町長は次のように町政の執行方針と予算の大綱について説明し、議会ならびにみなさんに、深い理解とご協力を要望しました。

### 町民参加の町政を推進 町民サービスの 精神を基本に

昭和四十九年三月定例議会の冒頭にあたり、施政の方針を申し上げます。

又、「合川町印鑑条例」の全部を改正する条例は、旧来の印鑑証明が直接証明とされたものを間接証明とす。印鑑の登録と同時に印鑑登録証を交付し、次後印鑑証明はこの登録証が提示されると登録原票の謄本を証明書として発行するものであります。

昭和三十九年度予算案を主要議題とした町議会は、去る三月十一日招集され、三月二十三日閉会しました。が、新年度の予算案の提出に当り、町長は次のように町政の執行方針と予算の大綱について説明し、議会ならびにみなさんに、深い理解とご協力を要望しました。

昭和三十九年度予算案を主要議題とした町議会は、去る三月十一日招集され、三月二十三日閉会しました。が、新年度の予算案の提出に当り、町長は次のように町政の執行方針と予算の大綱について説明し、議会ならびにみなさんに、深い理解とご協力を要望しました。

昭和三十九年度予算案を主要議題とした町議会は、去る三月十一日招集され、三月二十三日閉会しました。が、新年度の予算案の提出に当り、町長は次のように町政の執行方針と予算の大綱について説明し、議会ならびにみなさんに、深い理解とご協力を要望しました。

## 49年度一般会計予算 十二億六千二百万円

総需要抑制というきびしい情勢下にあつて、昭和四十九年度の予算を編成しましたが、一般会計予算総額

十二億六千二百一十三万三千円となり、前年度当初予算額に比して二億三千二百六十万五千三百円の増額は、二十

県支出金三億五千二百四十三万円、分担金、負担金、寄附金等で五千八百二十六万八千円、町起債に一億六千五百五十万円を求めて措置しており、これらの財源確保には最大限の努力をはらう積りであります。

### 公聴制度を重視 均衡ある町政の推進

歳出について申述べますが、経費別の内訳では、人件費一億八千二百八十六万五千円、物件費七千四百七十八万五千円、扶助費、補助費等二億三千六百六十五万四千円、その他維持補修費等一億二千八百九十三万五千円のほか、投資的経費として普通建設事業に五億九千二百九十九万、災害復旧事業に四千六百六十八万四千円となり特に前年度より町民福祉、保健衛生、建設関係及び教育関係が大幅に増額されております。

### 社会福祉活動を広く展開 社会福祉専門員を配置

社会福祉対策関係では、これまですすめてきた施策の拡充を図るために、社会福祉協議会の内容充実を期し、各福祉団体の育成強化と連繋により質的な向上と地域活動の強化策に留意しております。本年度においては福祉活動をより多面的に展開するために、あらたに社会福祉専門員を配置することにしております。合川町精神薄弱者施設通察

設整備では、自動車ポンプ一台、小型動力ポンプ二台の更新、防火水槽五基の設置、ホース二十三本と被服の購入費を含め二千三百四十五万円、広域による常備消防費負担金二千四百八十八万三千円を計上し、不時の災害に対処し、施設の充実を図ることといたしました。



福祉優先の町政を——敬老会

### 保健活動 各種検診の受診率を 高め健康増進を図る

次に町民の健康増進と、生活環境の整備については、衛生指導員の研修、健康大学及びリハビリ学級の開設、献血の推進等、町民健康管理に伴う諸集会の費用及び対策費を計上し、保健婦活動と医療機関関係機関及び、老人婦人団体と連繋をとりながら健康増進の活動と意識の喚起を図り、成人病対策としての胃腸検診九百人、婦人検診六百人、循環器検診五百人及び乳児検診、結核検診等の受診率の向上を図るための所要経費を措置しております。なお寄生虫検査の指定地域を東地区として千二百六十五人を予定し措置しております。

（みさか寮）は、定員二十名の施設で運営を秋田県厚生協会に委託しますが、それに伴う措置等五百九十九万二千円を計上しました。在宅重度身体障害者の生活環境整備事業助成は三人を予定し五十六万円、新規に歳末敬老金を八十歳以上の老人九十九人に対し一人当たり二千元を支給する費用及び身障更正協会二十周年記念事業に対する助成をそれぞれ計上しております。毎年行われてきた敬老会、ことぶき大会等の費用及び老人福祉電話の設置費五台分を予定しました。老人健康診査については一般診査、精密診査、訪問診査で三百七十人について措置し、老人医療費とともに二千四百七十八万円を計上し、老人居室整備資金貸付金三百万円は十件を予定しております。

児童福祉対策としては、少年団体の育成費、ボランティア活動費、高校生、働く青少年の研修費、青年の船参加費の助成を措置しております。施設整備費として街灯設置五ヶ所分、遊び場

備品、遊具等引き続き配置し児童館建設を国庫補助対象及び県費補助対象の二館分として一千二百一十一万九千円を計上しております。次に児童措置費については、申し述べます。保育園の保育料は、毎年国の基準が引き上げられておりますが本年度も最高一万二千六百七十円から最低二千三百円までと階層別に表示されております。然し本町の場合、父兄負担の軽減のため保育料の引下げを行い、毎年不足分について一般財源で補填しておりますが、本年度も最高額五千元から段階別に調整し、最低額二千二百円としており、単年度の父兄負担軽減額は二百三十万二千円となります。なお合川東保育園の改築予定地の布地取得費として一千三百九十七平方メートルを計上しております。

低所得者層用の公営住宅建設事業は、本年も引き続き宅地造成地に三棟十戸を建設し団地化を図りますがその事業費二千八百八十六万四千円を計上しており、入居者の使用料は月額四千円としております。

前年度より県単補助継続事業として着工しております「いこの森」造成事業は、二年次分として三百



「町民参加の町政」を公聴制度を重視、均衡ある町政の推進

母子福祉費では、乳児医療費の無料化に伴う町費負担及び保育料手当並びに出産祝品等のほか、母子のつどいに要する経費をそれぞれ計上しております。母子健康センターの利用

次いで各部の協力によりそれぞれゴミ捨場の整理が行われてきましたが、未だ一部に残されている箇所について全面的に解消する予定であります。又、一般のゴミ収集については一部町民の無理解から収集時間が守られず、永く放置されている箇所があり、地域内できびしく対処するよう指導するつもりであります。粗大ゴミ処理については定期的に日程を組み、ダンブ

環境整備事業では、各部落から下水溝整備の要望が多く、実態を調査して取り敢えず六ヶ処、千九百六十六メートルとして二百十万円を計上しております。

次に塵芥処理対策であります。各部の協力によりそれぞれゴミ捨場の整理が行われてきましたが、未だ一部に残されている箇所について全面的に解消する予定であります。又、一般のゴミ収集については一部町民の無理解から収集時間が守られず、永く放置されている箇所があり、地域内できびしく対処するよう指導するつもりであります。粗大ゴミ処理については定期的に日程を組み、ダンブ

車が巡回するように措置いたしました。収集業務は、収集車二台、従事者五人で行われておりますが、委託料の増高を考慮し委託料を増額し計上しております。又ゴミ処理の整理費及びばいじん測定調査の委託料も計上しております。

毎年春秋行われている清掃検査の実施方法については、いろいろと批判があり、今年からは大掃除実施要項をつくり、具体的に項目を定め、指導員二十五名を委嘱して環境衛生の指導にあたらせるとともに、衛生優良部落の表彰規程をつくり、清掃検査の状況、ゴミ処理状況、集団検診の受診率、保健衛生生活動等を総合して部落表彰を行うこととしてそれらの経費を計上しております。

国民年金は、本年一月から掛金が引き上げられましたが、給付額も大巾に増額されました。昭和四十八年度中の本町における年金加入者は、強制加入、任意加入で三千五百六十余人で、保険料は約二千四百万円となります。給付対象者は年々増加し、福祉年金は八百三十二人、拠出年金は二百四十七人で、受給総額は四千三百三十万円を超えております。又年金受給申請に要する住民登録証明手数料は、条例を改正して無料とするとともに申請手続きの簡素化を図ることといたしました。

出かせぎ者は、年間八百人を超えるものと推定されます。季節労働者互助会の加入促進を図り、健康診断の委託費、地域相談員の活動費、帰省バスの運行等に對する助成、通信連絡費、退職慰勞金積立金等を夫々措置し、中学卒就職者奨励会の費用、町内労働団体助成のほか、労働金庫子託金二百万円を計上しております。



各種検診で町民の健康増進を図る

### 農業政策

## 農道整備で大野台地域の開発の促進

### 生活改善センター(鎌の沢)を建設

これらの総額五百七十八万八千円を計上しております。畜産関係では、乳牛導入事業補助三十頭分と、前年度までの導入資金償還金が主なるものであります。飼料作物集約栽培七ヘクタールの推進費、酪農組合・和牛組合・養鶏組合等畜産団体助成等で五百四十七万七千円を計上し畜産振興を図ります。

次に農地整備事業関係については、鷹巣町を起点とする合川農免道路三千九百二十七米については、四十八年度で完工しました。大野台農免道路は昭和四十七年度より着工し、四十九年度完了の事業採択となっており、終点森吉町まで六千四百二十一米のうち、千七百八十二米は完了しております。しかし国の公共事業繰延べにより、完成年度が五十年度になる予定で、三年次の事業費町負担分二百二十万円を計上しました。開拓道路補修事業では、大野台線の継続事業費の二年次分、五千三百六十八米の工事費負担三百九十八万四千円を、三ヶ年継続事業で施行してきた金沢、美栄線は、四十七米の工事費二千四百三十三万円をそれぞれ計上しております。上杉地区農道舗装事業は二ヶ年継続事業として国の採択となるよう申請中で、初年度分として九百四十八米、その事業費二千五百四十六万五千円を計上しました。大野台地域の道路網は、広域的に大巾に整備され、地域開発の促進と交通事情の解決に大きな期待がかけられます。

産業の振興と経済基盤の拡大の施策について申し述べます。町営林事業も本年は十五年を迎えることとなりますが、財産造成と緑化推進による町土保全、町民就労対策等その成果は大きいものと思えます。本年度の事業としては、作業員男三十六人、女三十一人の雇傭を予定しており、新植七十四ヘ

調査費を措置し、土地改良区一般事務補助金をそれぞれ計上しております。全町圃場整備事業は五ヶ年の歳月と、幾多の困難を克服して完成しましたが、部分的に手直し補完工事が散在し、県に對し強く要請してまいりましたが、予算の配分状況や、植付時期等から町単独工事として四百万円を計上し、農民不安を解消する措置をとりました。なお、事業の完工式を六月中旬に予定し、それらの式典費二百万円のほか、町土地改良区人件費補助として四百三十六万四千円を計上しました。そのほか二ヶ年継続事業として施行している上杉老朽溜池整備事業と長根下圃場整備事業とあわせて二千五百五十万円を計上し、本年度に植付けでき

完了することになっております。山村振興事業で鎌沢に設置する生活改善センター建設は、千二百七十七万二千円となり、次に農業委員会の活動費として就業近代化対策事業、農地移動適正化あっせん事業・農地等紛争処理事業・農用地取得円滑化事業・農業者年金事務等九十二万六千円を計上し、農業の近代化の促進について委員会の活動に期待しております。

林業関係については、森林組合労働班共済費、害虫防除対策費、町緑化推進委員会・有害鳥獣駆除対策費に夫々助成し、本年から県委嘱の造林推進員二十名を配置して民有林の造林事業を拡大を推進する予算を計上しております。

次に第二次農業構造改善事業は、東北地区の四年次計画として、水田作協業施設・養蚕振興施設・経営整頓事業の補助対象費として、新規農道舗装事業として、福田から中学校入口附近まで予定した調査費又、三木田関の沢溜池の改良工事の

道路交通網の整備事業について申述べます。道路維持補修費は今冬の豪雪による町道破損に對処し、補修用の原材料費及び、除雪対策としての車両管理費賃金等で六百五十三万円を、道路管理センターのほかに、道路管理センター負担金百二十万一千円を計上しております。町道の除雪・排雪に万全と期するために、年度内に補助対象の小型ブルドーザーの購入申請を考へております。道路の新設改良事業のうち、舗装改良工事では集落内舗装九路線、二千八百九十米分の工事費六百四十万円を計上しましたが、地元負担率六分の一から、十分の一に引下げ、負担軽減を図



農道整備で大野台地域の開発の促進(合川農免・愛生園〜大野尻)

を計上しております。橋梁改良費では、継続事業の沢橋架替工事の事業費千六百八十九万五千円を計上し、本年度中に工事が完成することになっております。

## 南小学校(鉄筋一)を建築

### 東小学校に虚弱児学級を設置

教育振興に関する事項について申述べます。教育費の父兄負担については、小・中学校共に計画的に軽減を図る方針で、本年度は生徒児童用の学校図書費を措置しました。一般需用費・備品購入費等についても、経済状況を考慮して増額し、又教職員健康診査の委託費を新規に計上しております。教育研究所費では、郡市研究会並びに、県教委指定保健体育研究校の会場が本町に決定になり、それに伴う経費を含めて百五十五万一千円を措置しております。

建設となります。これにより四小学校百周年、立町二十周年で教育棟が永久校舎に改築され、更に今後の整備計画についても検討を加えなければならぬと思っております。

中学校費では、通学費補助金・教材備品等教育振興費に四百五十九万五千円・楽器収納室増築・校舎外部塗装の工事費で百六十万円を計上しております。

社会教育関係では、社会教育指導員の配置を予定しております。活動部面では新成人の式典費・青年婦人成人高令者等の学級開設及び文化財振興費等の費用百九十八万五千円、公民館費では、図書購入・自動タイマー等備品購入費五十八万円、便所増築・広報無線支局増設の工事費百八十三万円、公民館分館建築費千二百八十一万六千円を計上しております。

## 集落内舗装は九路線

小学校費では、永年懸案となっておりました合川東小学校の養護教諭の配置が決まり、健康教育増進のために虚弱児学級をつくることになりました。又、合川東小学校の非常用階段工事費二百七十万円、各校の教材備品等、教育振興費として三百八十三万九千円をそれぞれ計上しております。合川南小学校建築費は、資材高騰に伴い事業費が大巾に増加し、財源確保の見透しに苦慮しましたが、補助率の引上げと起債の確保、基金の繰入れ等により総額一億六千八十五万四千円を計上し着工することになり、建築面積千八百八十平方メートル、鉄筋コンクリート一部三階

災害復旧費について申述べます。

農業用施設災害復旧事業では、四十七年災害の李岱頭首工と三里頭首工ですが、三里頭首工は揚水機に工種変更となり、四十八年災害は李岱排水路二ヶ処、その他他事業で千五百九十六万五千円、林道施設災害復旧事業は、四十七年災害の関の沢林道二ヶ処、焼山林道の三ヶ処分、総事業費百三十二万七千円、河川災害復旧事業は、四十八年災害の増沢川七百四十三万一千円、橋梁災害復旧事業は四十七年災害の芹沢橋継続事業の二年次分として二千九百六十一万一千円を夫々計上しております。

### 特別会計

### 簡易水道五地区に新設

特別会計について申述べます。国民健康保険事業は、保険給付費の増大に延び、前年度においては保険料の引上げと、一般会計からの繰入補填により運営してまいりましたが、予想された実質赤字も、国の財政調整交付金の措置によって収支の均衡を保つことのできる見通しであり、しかし本年度においては増嵩する医療費、七月から予定されている三万円以上の高額療養費の支給、助産費の引上げ、平年度化された老人医療費及び、乳児医療費の無料化等に影響され、保険給付費の額の見通しが困難な状況であります。国民健康保険税は、保険給付に対応し、取支を整えるべきであり、被保険者の負担力を考慮し、一世帯当りの税額

を据置いたために、歳入不足を国庫支出金に期待して編成しました。予算総額は、一億六千二百九十万六千円となり、前年度より四千九百二十五万四千円増となり、歳入財源としての国民健康保険税は三千九百四十八万二千円、国庫支出金一億二千四百九十九万九千円、一般会計繰入金二百八十四万四千円、その他八万五千円となり、歳出の保険給付費は一億四千九百八十万五千円、保健施設費三百九十九万五千円、その他七百八十万六千円、その他二百二十万五千円となり、

昭和三十八年度補正予算の概要について申述べます。一般会計補正予算第七号により予算総額は一億八千二百四十九万五千円、二千五百六十二万二千円の減額となっており、主な原因としては、農地盤整備事業の翌年度繰越によるものであります。本年度は異常な物価高騰のなかで、合川西小学校改築工事をはじめ、建設事業・災害復旧事業がすすめられ、或は一月末からの豪雪対策等により、苦しい財政運用を続けてまいりましたが、特別地方交付税及び予定した起債の確保等により所要の財政需要について補正し、町財政の均衡を図ることができました。

先ず歳入補正について申述べます。町税については、町民税・固定資産税の自然増収を見込み、総額三百三十三万六千円を補正し、自動車重量税は八十五万七千円、自動車取得税交付金で二百六十七万円の増加配分額を補正しております。地方交付税については、特別分の追加額を二千七百二十三万八千円を計上することによって、特別分総額二千八百万円と

るので、決定次第予算の補正をする予定であります。次に宅地造成事業は、狐森地区及び鳥屋沢地区の事業債の計画償還費で、予算総額七百八十万円となり、宅地分譲により住民の要請に充てられているもので、本年度分をもって完済するものであります。

四万七千円を追加補正しております。統計調査費は、補助額の増加に伴う追加補助正、民生費の社会福祉業務費三百四十四万円の主なものは、大野台救護施設建築費の繰上げ補助百万円、在宅重度身体障害者生活環境整備費補助五十六万四千円、高令身体障害者医療扶助費百三十三万五千円、その他追加補正の社会福祉施設建設費は、補助金の追加によるもの、児童福祉費の減額百一十一万九千円は、児童手当等の増減による額、労働費では鷹巣町に建設される職業総合研修センター建築補助二十三万八千円、出かせぎ者留守家族職場訪問助成二十三万九千円を追加補正しております。

農業費では、農業委員会経費として二十万円、葉たばこ振興協議会・養蚕事業対策費・養蚕飼育試験費等で百六十六万六千円の追加補正をいたしました。農地費では農道整備事業・長根下圃場整備事業・老朽溜池工事費で事業繰越による減額と、農道舗装事業の調査委託・町土地改良区事務費補助・県単圃場整備事業にそれぞれ追加し、総額で二千九百五十六万六千円を減額補正しております。

社会教育費では、報償費、広報無線移転工事費及び一般需用費等で六十六万一千円、保健体育費では学校給食補助等で二十万七千円をそれぞれ補正しております。

次に災害復旧費ですが、農業施設災害の八百二十九万五千円、林業施設災害の百七十二万円の減額は、新年度に組替されております。河川災害復旧費は、孫沢川二ヶ所・務沢川・欠田沢川・芹沢川・増沢川の工事費に三百六十六万二千円、雪田

## 昭和四十八年度一般会計補正予算総額十一億八千万円

昭和三十八年度補正予算の概要について申述べます。一般会計補正予算第七号により予算総額は一億八千二百四十九万五千円、二千五百六十二万二千円の減額となっており、主な原因としては、農地盤整備事業の翌年度繰越によるものであります。本年度は異常な物価高騰のなかで、合川西小学校改築工事をはじめ、建設事業・災害復旧事業がすすめられ、或は一月末からの豪雪対策等により、苦しい財政運用を続けてまいりましたが、特別地方交付税及び予定した起債の確保等により所要の財政需要について補正し、町財政の均衡を図ることができました。

先ず歳入補正について申述べます。町税については、町民税・固定資産税の自然増収を見込み、総額三百三十三万六千円を補正し、自動車重量税は八十五万七千円、自動車取得税交付金で二百六十七万円の増加配分額を補正しております。地方交付税については、特別分の追加額を二千七百二十三万八千円を計上することによって、特別分総額二千八百万円と

四万七千円を追加補正しております。統計調査費は、補助額の増加に伴う追加補助正、民生費の社会福祉業務費三百四十四万円の主なものは、大野台救護施設建築費の繰上げ補助百万円、在宅重度身体障害者生活環境整備費補助五十六万四千円、高令身体障害者医療扶助費百三十三万五千円、その他追加補正の社会福祉施設建設費は、補助金の追加によるもの、児童福祉費の減額百一十一万九千円は、児童手当等の増減による額、労働費では鷹巣町に建設される職業総合研修センター建築補助二十三万八千円、出かせぎ者留守家族職場訪問助成二十三万九千円を追加補正しております。

農業費では、農業委員会経費として二十万円、葉たばこ振興協議会・養蚕事業対策費・養蚕飼育試験費等で百六十六万六千円の追加補正をいたしました。農地費では農道整備事業・長根下圃場整備事業・老朽溜池工事費で事業繰越による減額と、農道舗装事業の調査委託・町土地改良区事務費補助・県単圃場整備事業にそれぞれ追加し、総額で二千九百五十六万六千円を減額補正しております。

社会教育費では、報償費、広報無線移転工事費及び一般需用費等で六十六万一千円、保健体育費では学校給食補助等で二十万七千円をそれぞれ補正しております。

次に災害復旧費ですが、農業施設災害の八百二十九万五千円、林業施設災害の百七十二万円の減額は、新年度に組替されております。河川災害復旧費は、孫沢川二ヶ所・務沢川・欠田沢川・芹沢川・増沢川の工事費に三百六十六万二千円、雪田

公立米内沢病院組合関係に議会全員協議では、病院の移転新築について構成町村の負担割合が論議されており、今会期中

町民組織の世論を結集し生活の安定を

昭和三十八年度補正予算の概要について申述べます。一般会計補正予算第七号により予算総額は一億八千二百四十九万五千円、二千五百六十二万二千円の減額となっており、主な原因としては、農地盤整備事業の翌年度繰越によるものであります。本年度は異常な物価高騰のなかで、合川西小学校改築工事をはじめ、建設事業・災害復旧事業がすすめられ、或は一月末からの豪雪対策等により、苦しい財政運用を続けてまいりましたが、特別地方交付税及び予定した起債の確保等により所要の財政需要について補正し、町財政の均衡を図ることができました。

先ず歳入補正について申述べます。町税については、町民税・固定資産税の自然増収を見込み、総額三百三十三万六千円を補正し、自動車重量税は八十五万七千円、自動車取得税交付金で二百六十七万円の増加配分額を補正しております。地方交付税については、特別分の追加額を二千七百二十三万八千円を計上することによって、特別分総額二千八百万円と

四万七千円を追加補正しております。統計調査費は、補助額の増加に伴う追加補助正、民生費の社会福祉業務費三百四十四万円の主なものは、大野台救護施設建築費の繰上げ補助百万円、在宅重度身体障害者生活環境整備費補助五十六万四千円、高令身体障害者医療扶助費百三十三万五千円、その他追加補正の社会福祉施設建設費は、補助金の追加によるもの、児童福祉費の減額百一十一万九千円は、児童手当等の増減による額、労働費では鷹巣町に建設される職業総合研修センター建築補助二十三万八千円、出かせぎ者留守家族職場訪問助成二十三万九千円を追加補正しております。

農業費では、農業委員会経費として二十万円、葉たばこ振興協議会・養蚕事業対策費・養蚕飼育試験費等で百六十六万六千円の追加補正をいたしました。農地費では農道整備事業・長根下圃場整備事業・老朽溜池工事費で事業繰越による減額と、農道舗装事業の調査委託・町土地改良区事務費補助・県単圃場整備事業にそれぞれ追加し、総額で二千九百五十六万六千円を減額補正しております。

社会教育費では、報償費、広報無線移転工事費及び一般需用費等で六十六万一千円、保健体育費では学校給食補助等で二十万七千円をそれぞれ補正しております。

次に災害復旧費ですが、農業施設災害の八百二十九万五千円、林業施設災害の百七十二万円の減額は、新年度に組替されております。河川災害復旧費は、孫沢川二ヶ所・務沢川・欠田沢川・芹沢川・増沢川の工事費に三百六十六万二千円、雪田

町民組織の世論を結集し生活の安定を

町民組織の世論を結集し生活の安定を